

新庁舎建設だより

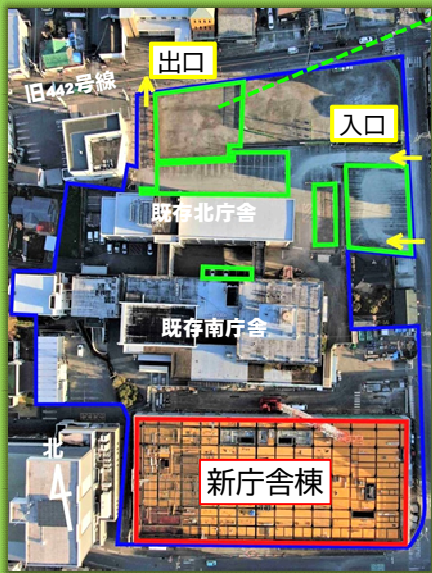
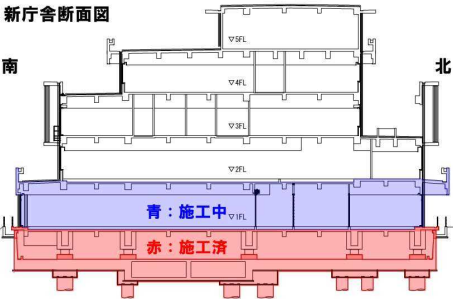
～八女市新庁舎建設工事～

2023年3月 No.13
発行：八女市企画部
新庁舎建設課

工事の進捗状況

2月は1階部分の柱・壁・梁から2階床までの鉄筋・型枠工事を中心に進めてきており、新庁舎の構造の特徴の一つである、強い梁を作るための、PC(プレレストコンクリート)工事も開始されました。

敷地北側(旧442号線側)では、臨時駐車場の整備を行っています。天候の影響で少し遅れましたが、3月上旬から来庁者駐車場を約30台増台できる見込みです。



敷地全体 (令和5年2月28日 市役所敷地上空より)

3月の工事予定

※ ●：コンクリート打設日(予定)
※ 3月4、18日(土)、21日(火・祝)は作業日となります。

1階躯体工事	●	●	●	●	●	●	●	●	●
PC(プレレストコンクリート)工事									
仮設工事(外部足場)									

問い合わせ：新庁舎建設課：0943-24-8091
工事現場事務所：0943-24-8650(施工業者：東急・イカワワグン JV)



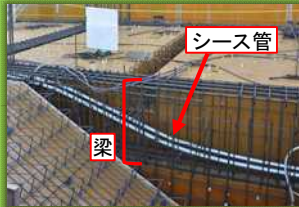
臨時駐車場の整備状況。既存の駐車場と合わせて、約120台駐車可能。(緑囲み部分)



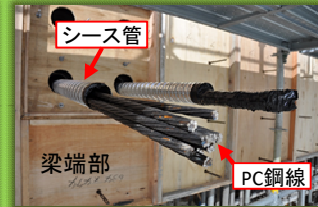
オレンジの部分は2階の床の型枠です。(令和5年2月27日 おりなす八女屋上より)



1工区は2階床の鉄筋立組みも進んでおり、3月3日にコンクリート打設の予定です。



PC工事：梁の中にPC鋼線を通すための配管(シース管)を鉄筋の中に設置しています。



PC工事：シース管の中にPC鋼線を通した状況。

PC工事は、一連の工事が完了した後に、改めて新庁舎建設だよりで紹介いたします。

スペーサー

新庁舎は鉄筋コンクリート造です。鉄筋は熱(火)に弱く、さびやすいという欠点がありますが、コンクリートで覆うことでその欠点を補ってくれるという大きな特徴があります。そのため、内部の鉄筋からそれを覆うコンクリートの表面(土や空気に触れる部分)までの距離は各部位によって建築基準法で最低基準が定められています。

それを「かぶり厚さ」(※右下写真)といい、適正な厚さの確保のために、「スペーサー」という材料を使用します。それぞれの形から、現場では「ドーナツ」や「サイコロ」と呼ばれており、かぶり厚さに応じたサイズを鉄筋に組み込み、その外側に型枠が設置されることでかぶり厚さを確保していきます。スペーサーが適正に入らない状況があれば、その部位はかぶり厚さが確保できていないことになりますので、配筋検査においては設置状況も確認していきます。

